
経済 TOPICS

No. 177
(2020年7月20日)

景気ウォッチング（要旨）

I. 日本経済 … 新型コロナウイルスの感染拡大により、引続き悪化している。

新型コロナウイルスの感染拡大に伴う外需の大幅な減少に加え、内需も、段階的な経済活動の再開とともに首都圏を中心に感染者数が急増するなど、依然として経済活動への制約が強いことから、引続き悪化している。

金融市場では、株価は、実体経済の悪化の長期化や再拡大への懸念と、経済活動再開への期待感などが交錯しつつ 22,000 円台で推移している。長期金利は 0%程度、為替は 106~108 円/ドルで推移している。

II. 米国経済 … 新型コロナウイルスの大規模な感染拡大により、引続き悪化している。

経済活動の段階的な再開により景況感が改善し、一部の経済指標で持ち直しの兆しがみられるものの、新型コロナウイルスの大規模な感染拡大に歯止めがかからないなか、生産や消費は低水準で雇用も失業率が高水準となっているなど、引続き悪化している。

金融市場では、株価は、実体経済の悪化の長期化や大規模な感染拡大の継続への懸念と、経済活動再開への期待感などが交錯しつつ 25,000~27,000 ドルで推移し、長期金利は 1%弱で推移している。



京都銀行グループ

京都総合経済研究所
